
第2章 景観構造の現況

1. 景観構造

- (1) 景観の5つの要素
- (2) 軸
- (3) 縁
- (4) 地域
- (5) 集中点
- (6) ランドマーク

2. 市民の目に映る景観要素

- (1) 市街地の緑化
- (2) 市内の歴史的景観
- (3) 水と緑と歴史が織り成す景観
- (4) 景観に対する印象
- (5) 市街地景観の中心

第2章 景観構造の現況

1. 景観構造

本市の景観はどのような特徴や特色があるのでしょうか。今後の良好な景観の形成の実現に向けた課題、理念、目標や方針および各種行為の制限内容を検討するにあたり、現在の景観構造を把握する必要があります。

景観構造の把握は、市内の景観要素として考えられるものを抽出し、その要素を性格ごとに分類して行います。なお、景観要素の抽出の基準は、現在景観要素として捉えやすい（印象深い）もの、または現在は捉えにくい（印象が薄い）が景観要素としては重要であり、今後、より捉えやすく（印象深く）していったほうが良いと考えられるものとします。

（1）景観の5つの要素

景観要素の分類の基準を示します。景観要素は軸、縁、地域、集中点、ランドマークの5つに分類します。これらに分類する理由は、景観要素をその形状（線的なもの・点的なもの・面的なもの）や空間上の性格（2次元的なもの・3次元的なもの）や景観の中で果たす役割（視点場としての要素・見られる対象）などで分類したとき、概ね上記5つに分類することができると考えられるからです。

ただし、当然のことながらすべての景観要素が5つにきれいに分類されるわけではなく、その捉え方によって複数の性格を同時に持つ景観要素も存在します。このような場合は、どちらの分類にも景観要素として挙げるものとします。以下に、5つの分類の定義を示します。

- 軸：人が習慣的に通行する線的なもの
 - 国道21号等の幹線道路や名鉄各務原線といった鉄道があてはまります。
- 縁：高低差があり地域や空間の境界となる線的なもの
 - 木曽川や河岸段丘などあてはまります。
- 地域：似たような雰囲気を持つ範囲や面的なもの
 - 田園地域や山沿いの住宅団地などがあてはまります。
- 集中点：大勢の人が集まってくるような点的なもの
 - 市役所や駅などの公共公益施設や生活利便施設があてはまります。
- ランドマーク：形として目立つ点的なものや象徴的な意味合いを持つ点的なもの
 - 伊木山、河川環境楽園観覧車や村国座などがあてはまります。

(2) 軸

市内の軸となる景観要素を抽出し、図2-1に示します。この中で、特に交通量の多い道路や眺望点として重要であると考えられるような道路を主要な軸として抽出します。

主要な軸	それ以外の軸
国道21号・(主) 江南関線・(主) 川島三輪線 (主) 芋島鵜沼線・(県) 岐阜各務原線 いちょう通り・おがせ街道・かえで通り 新鵜沼駅前通り・名鉄各務原線	東海北陸自動車道・那加メインロード (県) 長森各務原線・(都) 日野岩地大野線 (都) 岐阜鵜沼線・さくら通り・けやき通り ろっけん通り・栄通り・各務原大橋通り 各務原駅前通り・JR高山本線 坂祝バイパス

【 図 2-1 : 軸 】



市を東西に縦断する国道21号



街路樹が特徴的ないちょう通り



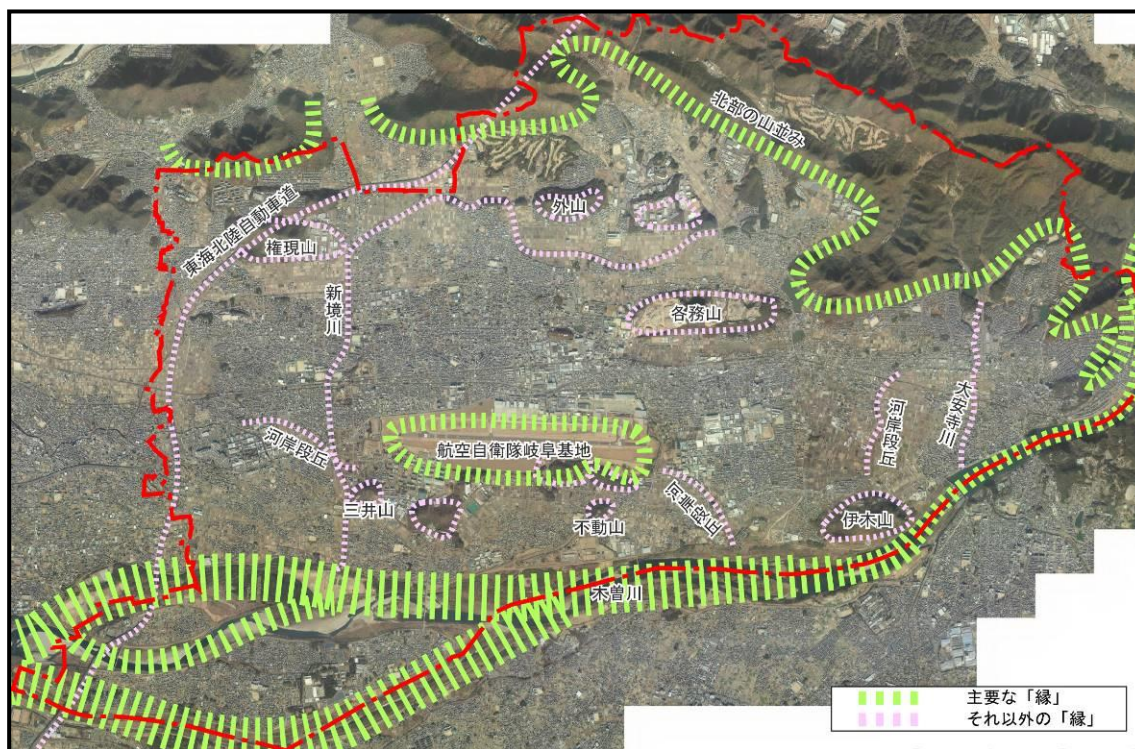
市を南北に横断するかえで通り

(3) 縁^{ふち}

市内の縁となる景観要素を抽出し、図2-2 に示します。この中で、特に北部の山並みや木曽川などの大きな境界となるようなものを主要な縁として抽出します。

主要な縁	それ以外の縁
北部の山並み・木曽川・航空自衛隊岐阜基地	河岸段丘・新境川・大安寺川・伊木山 各務山・外山・不動山・権現山・三井山 東海北陸自動車道
	等

【 図2-2：縁 】



北部の山並み



岐阜県と愛知県の境となる木曽川



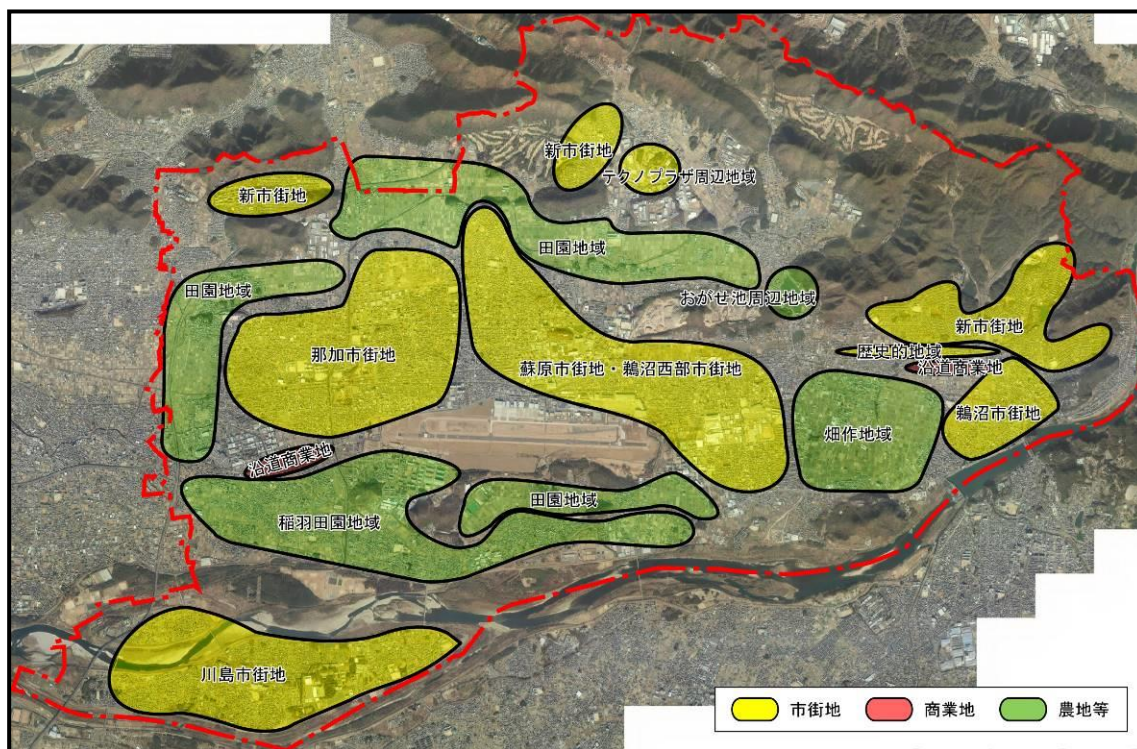
地域の境となる東海北陸自動車道

(4) 地域

市内の地域となる景観要素を抽出し、図2-3 に示します。

地 域
那加市街地・蘇原市街地・鶴沼市街地・鶴沼西部市街地・川島市街地・稲羽田園地域 新市街地・沿道商業地・テクノプラザ周辺地域・おがせ池周辺地域・田園地域・畑作地域 歴史的な地域

【 図2-3：地域 】



趣のある建物が残る稲羽田園地域の集落



家々の間に緑の残る川島市街地



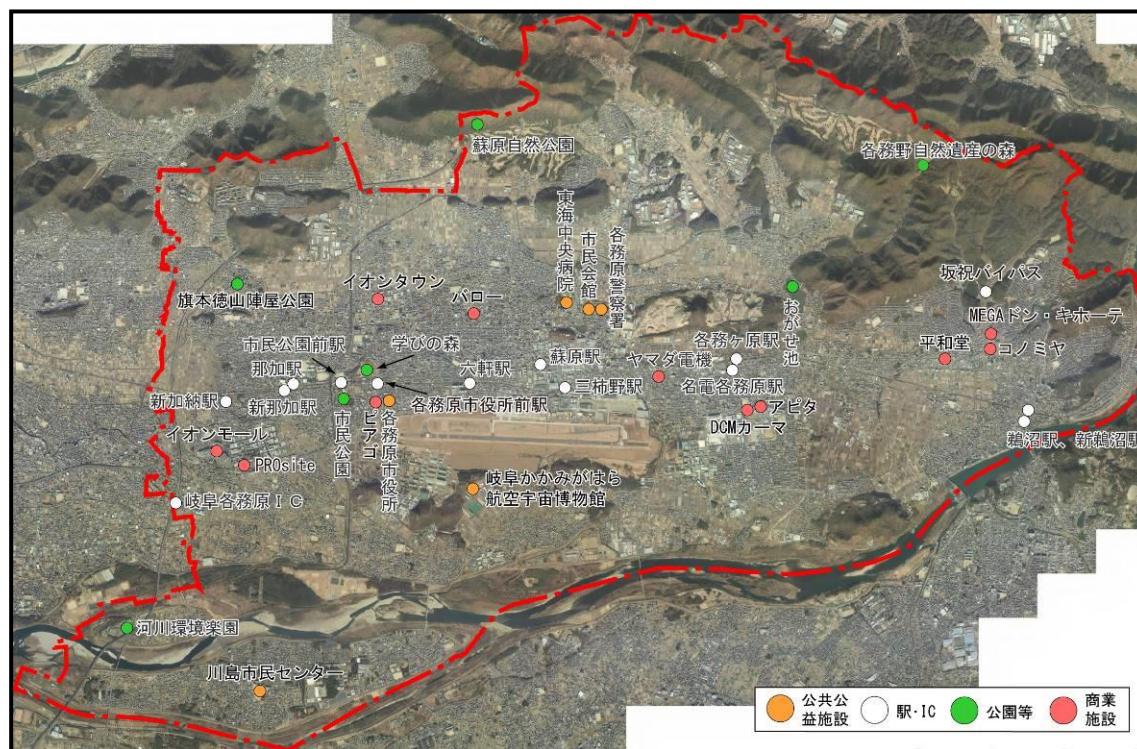
緑豊かなテクノプラザ周辺

(5) 集中点

市内の集中点となる景観要素を抽出し、図2-4 に示します。

集中点
新那加駅・市民公園前駅・各務原市役所前駅・六軒駅・三柿野駅・名電各務原駅・新鵜沼駅 那加駅・蘇原駅・各務ヶ原駅・鵜沼駅・岐阜各務原 IC・各務原市役所・川島市民サービスセンター 市民会館・東海中央病院・各務原警察署・市民公園・学びの森・河川環境楽園・おがせ池 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館・各務野自然遺産の森・蘇原自然公園・旗本徳山陣屋公園 等

【 図2-4：集中点 】



市内外の人々が利用するJR鵜沼駅



憩いの場となる市民公園



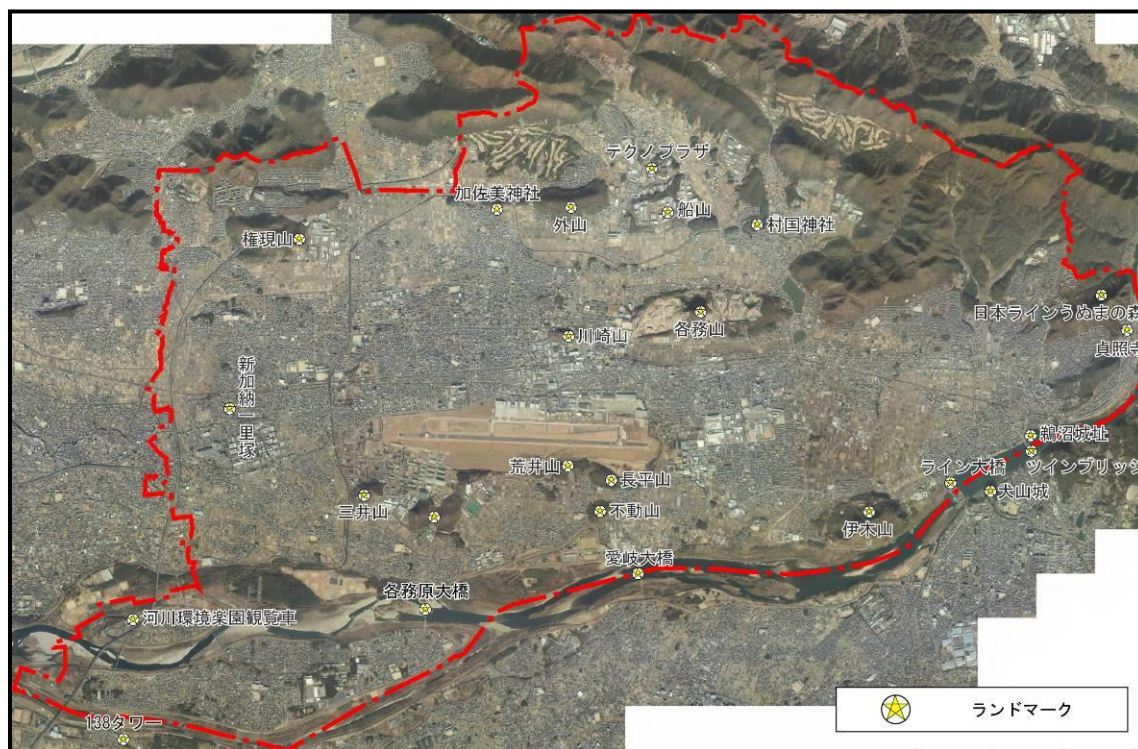
多くの人々が集まる河川環境楽園

(6) ランドマーク

市内外のランドマークとなる景観要素を抽出し、図2-5 に示します。なお、象徴的な意味合いを持つ点的なものなどもランドマークとして抽出します。

ランドマーク
伊木山・各務山・川崎山・船山・外山・権現山・三井山・荒井山・長平山・不動山 テクノプラザ・新加納一里塚・加佐美神社・村国神社・貞照寺・鶴沼城址・ツインブリッジ 各務原大橋・ライン大橋・愛岐大橋・日本ラインうぬまの森・河川環境楽園観覧車・138タワー・犬山城 等

【 図2-5：ランドマーク 】



鶴沼地区のランドマークとなる伊木山



木曽川越しに眺める犬山城



心のランドマークとなっている村国神社

2. 市民の目に映る景観要素

市内における景観の要素は、1. 景観構造 (2) 軸から (6) ランドマークまでに記述したとおりですが、ここでは特に市民の目に映る景観要素の特徴を把握し、その特徴から、良好な景観の形成のために必要な課題について検討します。なお、ここで扱う内容については、平成16年度に実施した市民アンケートの調査結果をもとに進めます。

【参考】 市民アンケート 調査概要

平成16年7月から8月にかけて、無作為抽出による市民1,000人を対象として、各務原市景観基本計画の策定に先立ち、景観全般にわたる市民意識のアンケート調査を実施しました。調査概要は以下のとおりです。

- ・ 調査地域：市全域
- ・ 調査対象：満20歳以上の男女（1,000サンプル）
- ・ 調査方法：郵送（配布・回収）
- ・ 調査期間：平成16年7月23日～8月6日

(1) 市街地の緑化

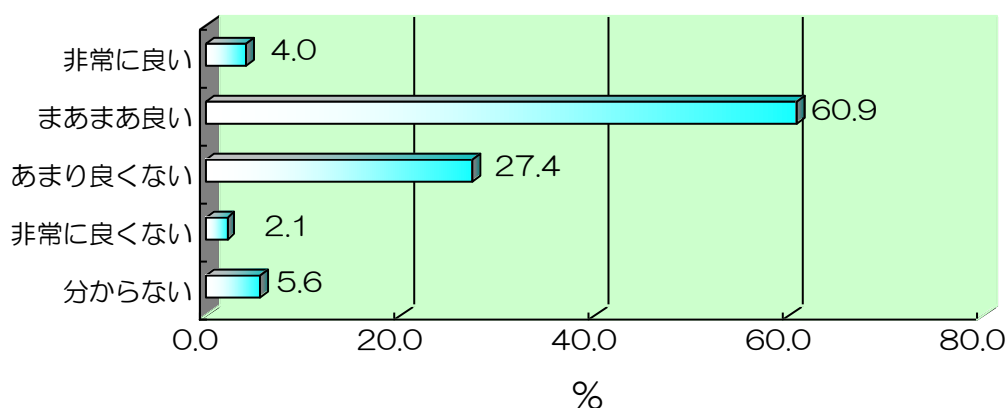
本市の景観の印象について、図2-6に示すとおり、アンケート回答者のおよそ6割の人が“まあまあ良い”と回答していました。その理由としては“緑が多いこと”や“市街地の整備が進んでいること”が多く挙げられていました。

一方、3割近くの人が“あまり良くない”と回答していました。理由としては“土採りされている山の景観が良くない”、“国道21線沿いの看板類が不揃いである”や“これといった景観が見当たらない”という意見が多く、“高層マンションや工場等の市街地景観”もあまり良い印象を与えていないようです。

この他、景観を良くしていくために行ったら良いと思われる施策は、図2-7に示すとおり、“緑豊かな環境を守るための緑地保全に努める”が圧倒的に多く挙げられており、市民が緑に対して好印象を持っていることが分かります。

このようなことから、現在残る緑を保全することは当然ですが、良好な景観の形成のためには積極的に緑化を進めていくことが望まれると言えます。

【図2-6：各務原市の景観に対する印象】



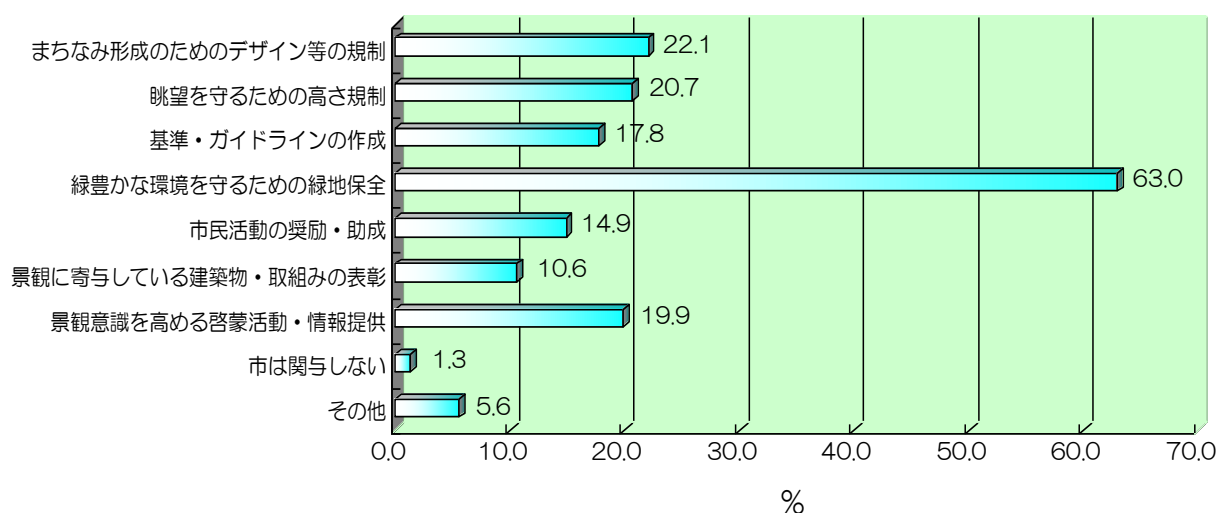


緑の空間を演出する街路樹



身近な公園の緑（入会公園）

【 図2-7：行ったほうが良い施策について 】

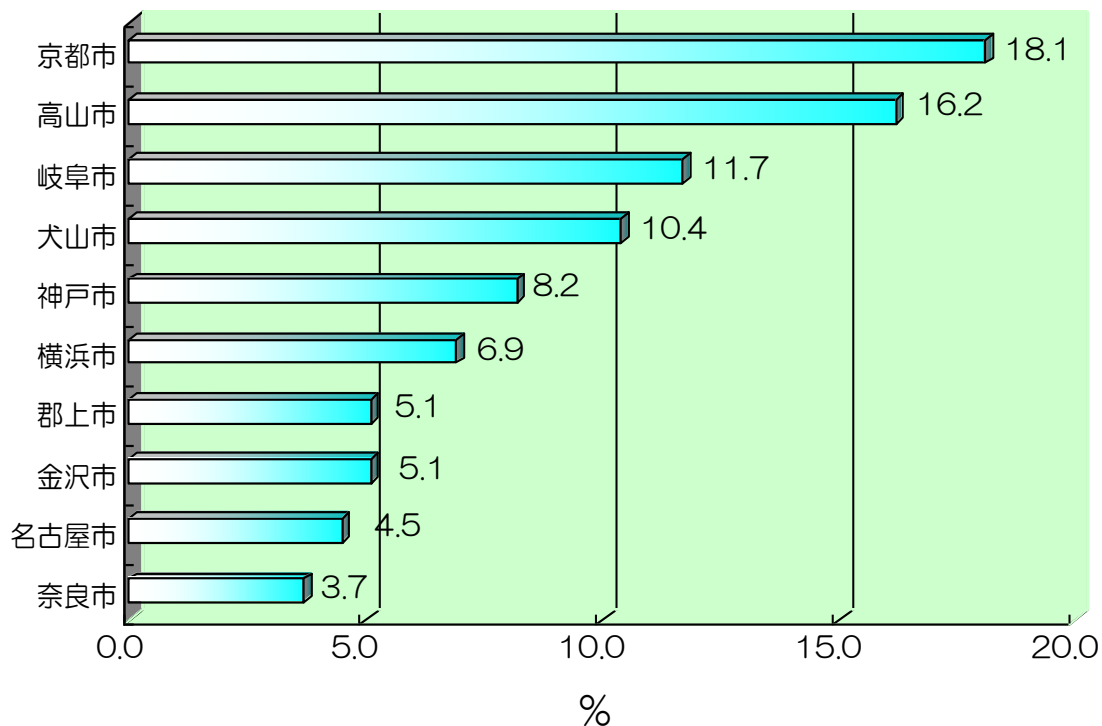


（2）市内の歴史的景観

“良い景観があると思う都市” についての問いかけに対しては、図2-8 に示すとおり、京都市や高山市に加えて本市近辺の都市では、岐阜市や犬山市等の歴史的景観を残す都市が上位を占めており、市民が歴史的景観に好印象を抱いていると言えます。

一方、本市の“良い景観がある場所” に対する問いかけに、旧鵜沼宿や鵜沼城址といった歴史的景観資源があまり挙がっておらず、市内の歴史的景観については印象が薄いことが分かります。しかし、旧中山道沿いの旧鵜沼宿や新加納一里塚、旧東山道沿いの旗本徳山陣屋公園、加佐美神社、村国神社の周辺や新境川周辺には歴史的なたたずまいを有する景観が多く存在しています。これら歴史的景観の要素は、それらをつなぐ景観軸を形成し、加えて多くの市民が訪れる、あるいは訪れたいとなるような施策を展開すれば市民の印象度は高まると考えられます。

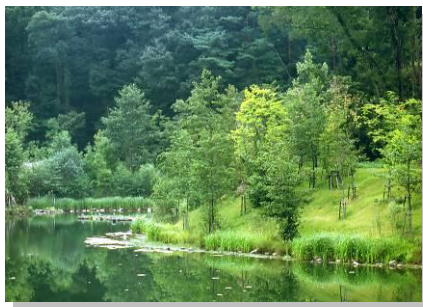
【 図2-8：良い景観があると思う都市 】



(3) 水と緑と歴史が織り成す景観

岐阜市や犬山市には、それぞれ城とその周囲の緑（山や公園）や河川（長良川、木曽川）があり、これらが織り成す景観が市民に好印象を与えていると思われます。

また、本市の良い景観要素としては、木曽川、おがせ池、市民公園や新境川など水辺空間や緑地空間を挙げる人が多く、歴史的資源に加え、水辺や緑に好印象を抱いている市民が多いことが分かります。特に木曽川沿いの伊木山より上流の地域は犬山城を含んで文化財保護法による名勝地指定がされているエリアでもあり、現在の良好な景観を保全していくことが望まれます。



水辺のある空間（各務野自然遺産の森）



川島地区に残る“ごんぼ積み”

(4) 景観に対する印象

以上、(1) 市街地の緑化 から(3) 水と緑と歴史が織り成す景観 に示したことから、現在の本市の景観に対する市民の印象と今後必要と考えられる施策をまとめると以下ようになります。

市民の景観に対する印象

- 良好な景観の形成上、良くないと考えられている施設は緑化が望まれる
- 市外の歴史的景観に好印象を持つ一方、市内の歴史的景観の印象が薄い
- 水辺、緑、歴史の織り成す景観に好印象を持っている

市民アンケートの結果では、印象深い（記憶に残っている）景観要素として道路、鉄道などの軸や木曽川、北部の山並みなどの縁が多く挙がっていました。このことから本市の都市イメージを考える際、これらの軸や縁が大切な景観要素であることが分かります。また、身近な景観については、点的な景観要素が集中しているエリアが市民に印象深い場所でもあるという点を考慮すると、市街地景観として重要なエリアであると言えます。

一方、本市にはまだ市民に知られていない、あるいは印象が薄い景観要素が多く存在していることから、今後これらの景観要素を印象深くしていく工夫が望まれると言えます。同時に、特におがせ街道以北は歴史的景観資源が多く残っており、歴史的景観に好印象を持っていることから、これらに対する良好な景観の形成に向けた施策が必要であると言えます。

特 徴

- 点的な景観要素が集中するエリアは市街地景観として重要である
- まだ市民に知られていない景観要素が多く存在しており、印象深くしていく工夫が望まれる
- おがせ街道以北の歴史的資源を結ぶ景観軸の形成が望まれる

(5) 市街地景観の中心

以下のエリアは特に点的な景観要素が集中しており、市民に印象深い場所でもあるという点を考慮すると、市街地景観の中でも特に良好な景観の形成を図る必要がある地区として重要であると言えます。

市街地景観の中心

● 市役所・市民公園周辺（都心ルネサンス地区周辺）

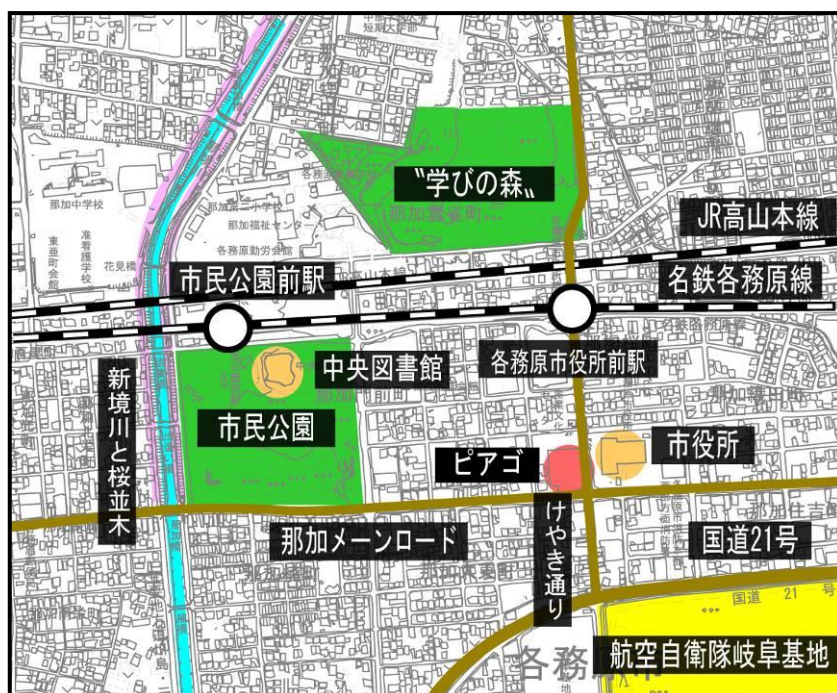
● 市民会館周辺

● 鶴沼・新鶴沼駅周辺

● 市役所・市民公園周辺（都心ルネサンス地区周辺）

図2-9 に示すように、市役所、市民公園、新境川とその桜並木、那加メインロード（旧国道21号）や2本の鉄道が集中し、この他にもけやき通りや中央図書館、各務原市役所前駅や市民公園前駅など多くの景観要素が集中し、これらは多くの市民の記憶に残っています。したがって、これらを取り込んだエリアは市街地景観の中心として重要です。

【 図2-9：市役所・市民公園周辺の景観要素 】



● 市民会館周辺

図2-10に示すように、いちよう通りや（主）江南関線、おがせ街道、市民会館、東海中央病院等が集中しています。この他にも、各務原警察署など多くの景観要素が集中し、これらは多くの市民の記憶に残っています。加えて東島池や川崎山、東側に望むことのできる各務山などもこのエリアに存在しており、これらを取り込んだエリアは、市街地景観の中心として重要です。

【 図2-10：市民会館周辺の景観要素 】



● 鵜沼・新鵜沼駅周辺

図2-11に示すように、本市の東の玄関口である JR 鵜沼駅、名鉄新鵜沼駅周辺には鵜沼城址などの歴史的な景観要素が存在しており、また多くの人々が目にする場所であることを考慮すると、これらを取り込んだエリアは、市街地景観の中心として重要です。

【 図2-11：鵜沼・新鵜沼駅周辺の景観要素 】

